

聴覚障害の監督 日本縦断

映画「スタートライン」の写真は一場面。監督は、聴覚障害のある今村彩子監督が自転車で行く日本を縦断し、コミュニケーションの本質に迫るドキュメンタリーだ。

生まれつき耳が不自由な今村監督。読み書きや、相手の唇の動きを読んで会話することを教えてくれた母や祖父の死をきっかけに、健聴者に対して引っこ込み思案な自分を乗り越えようと、沖縄から北

「スタートライン」



海道を目指す旅に出た。

作品は、4千キロを走った57日間の挫折や立ちも包み隠さず伝える。日本人と楽しげに話す中途聴覚障害のオーストラリア人をはじめ、多くの人との出会いを通じて、コミュニケーションとは何かを問い掛ける。

広島市西区の横川シネマで14日まで、尾道市のシネマ尾道で10日まで上映。4日はそれぞれの館で上映後に監督の舞台あいさつもある。(余村泰樹)